

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	令和5年度第1回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	令和5年4月28日(金) 18時30分から20時まで			
開催場所	墨田区役所 8階 会議室81			
出席者数	22人 【委員】 18人 来場による参加 石井委員、碓氷委員、宇田川委員、大垣委員、笠貫委員、門倉委員、河田委員、木股委員、小木曾委員、小林(茂)委員、小林(紀)委員、佐野委員、佐原委員、橋本(玲)委員、松村委員、森下委員、八林委員 オンライン参加 石川委員 【事務局】 4人 環境保全課長、資源環境部副参事、環境保全課環境管理担当主査、環境保全課環境管理担当主事			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	なし	
議題	1 環境保全課長あいさつ 2 委嘱状交付 3 出席者自己紹介 4 すみだ環境共創区民会議について 5 役員選出 6 今後の活動について 7 環境フェアの出展内容について			
配付資料	【資料1】委員名簿 【資料2】すみだ環境共創区民会議について 【資料3】すみだ環境フェア2023事業内容(案) 【資料4】【参考】すみだ環境フェア2022出展内容 【資料5】すみだ環境フェア2023 出展ブース個票			
会議概要	1 議題1 環境保全課長あいさつ 環境保全課長及び資源環境部副参事からあいさつ。 2 議題2「委嘱状交付」について 事務局から委嘱状を机上交付した旨説明。 3 議題3「出席者自己紹介」について 出席委員一人ずつ自己紹介を行った。 4 議題4「すみだ環境共創区民会議について」 事務局から、すみだ環境共創区民会議の役割、活動内容の説明資料を配布したの			

で、参照するよう案内。

5 議題5「役員選出」

事務局から会長、副会長の役割及び投票の流れについて説明。立候補者を募ったところ、2名が立候補し、投票の結果、宇田川委員が会長に選出された。また、会長から副会長について、役割（情報発信とイベントの企画運営）ごとに1人ずつ選任したい旨提案。その後木股委員（情報発信）と松村委員（イベントの企画運営）の2名を副会長に指名。

6 議題6「今後の活動について」及び議題7「環境フェアの出展内容について」

事務局から年間のスケジュール概要を説明。その後会長が進行。

宇田川会長：区民会議として区民と接する機会は環境フェアやすみだまつりくらい。昨年は温暖化が進むとどうなるか展示資料で説明し、また、タブレットで環境学習ツールを用いてクイズに参加してもらったが、評判が良かった。私が会長を4年間務めた最初の年は緑化をテーマに取り上げた。また去年は気候変動と、区民をどのように行動変容させていくかを議論し、環境の日やグリーンすみだを通じて情報発信していこうというところまで話が進んだ。今期は前期の延長であれば区がゼロカーボンを目指しているの、区民に対し、どのように行動変容を促していけばいいか、区民目線で考えて情報発信をしていくという方向になる。この先前半は情報発信の方法とイベントをどのようにしていったらいいかを中心に議論を進めていきたい。このことについて、意見を伺いたい。

碓氷委員：環境フェアとこの会議体にロゴマークを付けるのはどうか。印象に残ると思う。

松村委員：環境フェアでは来た人にクイズに参加してもらったが、今までのクイズも残しつつ、より難易度の高いクイズも用意した方が良いのでは。

宇田川会長：環境学習ツールについては、区のHPから見る事ができるので、見たことのない方は確認していただきたい。

佐原委員：区民会議としてクイズを作るのはどうか。

松村委員：それも良い。あとは区で行っている補助金もクイズに織り込んだりできると良い。

小林（茂）委員：区民は知識自体は持っていると思うが、それをどう実践していくかが重要である。小さいことでも良いので、訪れた人が実行可能なことについてのガイダンスがあった方が良い。知識だけでなく、実践することが大事。見やすくわかる内容が良い。

河田委員：ロゴマークを区民に作ってもらえるのはどうか。また、先ほど話があったが、自分事として捉えていない人が多いので、自分事に捉えられるような内容を発信していく。こうしたらこう変わったということが見える化できる内容が良い。

佐原委員：例えばガソリン車に乗るとマイナスで、木を植えるとプラスになるというように、点数化するようなゲームができたら面白いと思った。

宇田川会長：環境フェアに関する意見が多いので、事務局からすみだ環境フェアについて説明してほしい。

事務局から資料3から5を基にすみだ環境フェアの今年の事業概要や昨年のフェア

の出展内容について説明。

大垣委員：今決めようとしているのは環境フェアのテーマか。まず2年間のテーマを決めてからでないと始まらないのではないかと。テーマについては話し合わないのか。

宇田川会長：大垣委員は年間のテーマについて、どのようなことをやりたいと考えているのか。

大垣委員：佐原委員のようなポイント制のようなものを考えている。区民も事業者がどういうことをやっているのか知らなければいけないと思う。墨田区として事業者が削減するCO₂の割合は大きいのではないかと。墨田区は事業所が多いので、そういうことを考えていくのが重要だと思う。産業ごとに環境面でどのように削減できるのかを考えていくのが良いと思っている。

笠貫委員：貴重な意見だと思う。2年間何をやるのか見えてこない。大垣委員の言うように、企業の責任が大きいと思う。我々建築業界の企業としてはカーボンニュートラルのために断熱改修などを進めるべき。松村委員も発言していたが、環境保全課で補助金制度があるが、区民に知れ渡っていない。区は宣伝が下手。1年間できることは何か考えていかなければならない。

大垣委員：去年立ち上げたときテーマは決まっていたのか。フェアの目的のためだけでなく、先に会議の方向性も話し合わなければいけないのではないかと。

宇田川委員：年間のテーマについても今後話し合っていかなければいけないが、フェアの開催が迫っている中で、直近のフェアの内容を考えていかなければいけない。

笠貫委員：環境フェアについては、昨年度末出展することで決定しているので、6月開催と時間がない中優先して準備を進めていかなければいけない。

森下委員：毎期のテーマはやりたいこと、関心が高いことを話し合いながら決めていた。私が入ったときは緑が身近なので、緑がテーマになった。区がSDGsで表彰されたときはSDGsをテーマにした。去年はカーボンニュートラルを区が宣言したことを受け、ゼロカーボンについて考える流れになった。今回もその流れを汲んで、引き続きゼロカーボンに向けて広報に力を入れていこうという流れになったが、どうしているのかを考えていくかは今後決めていくことになる。

宇田川会長：この会議は区民のほか、環境団体や企業など、色々な立場の委員が参加している。環境団体ごとに目的や意図が違う。そういった団体の話を聞いた上で今期はどういったことをやっていこうかということになる。スケジュールが決まるのは夏くらいになる。

石井委員：大垣委員と同じ意見で、今回参加していて、ゼロカーボンありきだと感じた。テーマは決まっているのかと思った。自分は緑化のことを取り上げようと思っていたが、決まっているなら他の年に提案しようと思った。あくまでも環境フェアは手段であり目的がきちんとしていないと進まないが、今は目的がないままに手段が先行しているという印象がある。

宇田川委員：今期何をとり上げるのかはこれからの話で、カーボンニュートラルありきにはなっているが、2年近くカーボンニュートラルに関する区民の行動変容のためにどうしているのかをやっていったらいいのか緩和と適応に絡めて議論してきたの

	<p>で、それを区民に紹介するという流れになっていた。</p> <p>八林委員：これまでの流れもあると思うので、いい方向にいければと思う。</p> <p>佐原委員：今度のフェアは旧来のメンバーのテーマで出展する。本来はこれからのテーマを決めてから出展するのが望ましいが、それでは間に合わないというだけの話である。長い時間かけてみなさんの意見を聞いた上で方向性を決めるのが望ましい。テーマは2年間の任期の中で半年くらいかかるものである。</p> <p>宇田川委員：環境フェアが終わったころ、振り返りを含めた中で方向性を決めていきたい。環境フェアについては、今回で出展内容が決まらなかった。来月きちんと内容を打ち出さないといけない。場合によっては来月会議の前に臨時会議も招集する。</p> <p>木股委員：大垣委員の発言のとおり、テーマを決めるのはとても大事だと考えていて、全員の意見を出した上でどう決めていくのかというスケジュールを出した方が良かった。</p> <p>大垣委員：宿題を出す形で事前に意見を集約してから次回の会議臨んだ方が良いのでは。</p> <p>佐原委員：委員のメールを使用している人の割合は？次の会議までにメールなどで議論できた方が良くと思う。</p> <p>事務局：現在2名以外はメールでやり取りしている。</p> <p>宇田川委員：前期から会議の議題によっては事前に意見や質問を集約している。フェアの内容や今日の会議の内容について意見がある場合は、事務局まで連絡するように。</p> <p>7 その他 今後の会議日程について</p> <p>以上</p>
所 管 課	墨田区資源環境部環境保全課環境管理担当 内線 5471